

平成25年の春 清掃活動・ゴミ拾いを取材しました

自分たちの住むまちをきれいにしようと、今年も春の訪れとともに、各地区町内会をはじめ、学校、各団体の皆さんが、清掃活動を展開しました。「きれいで住みよいまちづくり」への取り組みとしてその活動を紹介します。

4月26日、幾寅婦人会（後藤治子会長：会員34名）の皆さんにより、本町の観光スポット「幌舞駅」とその周辺清掃が行われました。

会員の皆さんは、窓拭きをはじめ、マイマイガの卵の除去、ほうきや脚立を使い駅舎内天井や掲示パネルなど展示コーナーの隅々まで清掃を行ったほか、ぼっぼや号の内部や駅舎周辺の清掃が熱心に行なわれ、きれいな駅舎は利用者や観光に訪れた皆さんを、心地よく迎えています。



5月7日、幾寅小学校（全児童数88名）では、最初にゴミの分別や現状について町の担当者から説明を受けたあと、全校児童が縦割りの4班に分かれて、ゴミ袋を手に学校から一味園までの間・国道の両側、側溝などに落ちていたタバコの吸殻や空き缶などのゴミを肌寒い中元気に拾い集めていました。

各班で拾い集めたゴミの量を計測したところ、約40kgあり、児童の皆さんは、自分たちが拾い集めたゴミの量に驚いていました。



5月1日、下金山小学校（全児童数11名）でボランティア清掃奉仕活動として、全校児童と教職員が3班に分かれて、学校の周辺や国道沿いのゴミを拾いました。

児童の皆さんは、ゴミを一つ一つ一般ゴミやプラスチックゴミ、不燃ゴミなど分別方法を確認しながら一生懸命拾っていました。児童の感想発表では「ゴミのないきれいな街にしていきたいです」と述べていました。



5月7日、金山小学校（全児童数7名）では、校外清掃活動で2班に分かれ、学校の周辺や開基記念公園、神社境内、国道沿いなどのごみを拾い集めました。

金山ふれあい広場の駐車場には、タバコの吸殻や空き缶がとても多く捨てられており、枯葉を掻き分けながら児童達は1時間程度にわたりごみを拾っていました。



5月8日、南富良野高等学校（全生徒数78名）では、日頃通学している国道脇や東町・朝日町・千木町などのゴミ拾いを行いました。各学年ごとの12グループに分かれ、ゴミ袋と火バサミを手に巡回し、見慣れた道にも注意してみると意外に多くのゴミがあり、丁寧に拾っていました。



5月10日、幾寅寿倶楽部（加藤哲夫会長）では、地域に感謝の気持ちを込め、2班に分かれ11名の会員が町道幾寅市街地東2丁目線のポテトチップス工場シレラまでの道路沿い、松井川周辺や国道沿いのゴミを拾い集めていました。



5月11日、サイクリングクラブ・サウスユック（佐藤芳樹会長：会員14名）では、道々金山・幾寅停車場線沿いなどのごみを拾い集めていました。

本年度で10年目になり、日頃走行している道路に感謝を込めて空き缶やビニール袋など約30kgのゴミを拾っていました。



5月13日、北落合地区では、春の農作業が本格化するのを前に、北落合連合会（佐藤健一会長）の環境美化整備作業と北落合小学校（全児童数6名）の環境美化集会在合同で行なわれました。地域と学校が連携し、合計44名と一緒に地区内の長い道のりを歩いて回り、ゴミを拾い集めていました。



5月25日、幾寅岐阜町内会（山内茂樹会長）が町内清掃を行い、参加した皆さんは、ふれあい公園の草取りをはじめ、大乘会周辺の道路脇の清掃やゴミ拾いなどに取り組んでいました。



5月26日、幾寅栄町町内会（後藤健寿会長）が町内の清掃活動を行い、住宅街に設置されている児童公園を含む4つの公園や道路脇の草刈りやごみ拾いなどに取り組んでいました。

